

中央・北地域部会（粟一会） 令和6年度計画

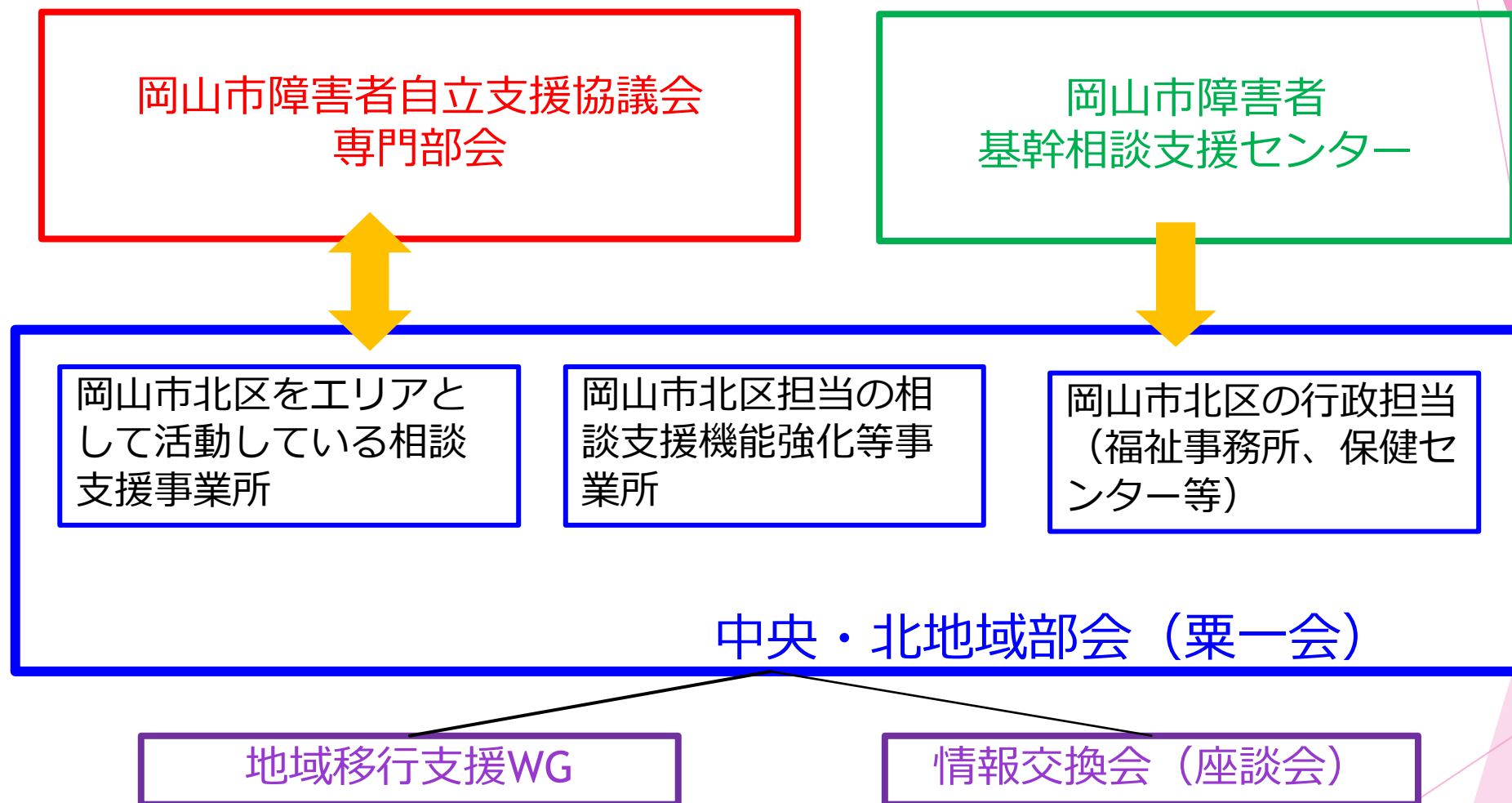
地域サポートセンター 仲よし

向所 優希

相談支援センター 鹿田

川上俊輔

中央・北地域部会について



【開催日時】 毎月第3木曜日 (13:30~15:30)

【場所】 北ふれあいセンター3階 メンタルサポートルーム

計画相談支援の情報共有

- ▶岡山市障害者自立支援協議会（各専門部会）との密な連携、情報共有を行なう。
- ▶岡山市障害者基幹相談支援センターと連携して、相談支援の質向上に向けて、専門的な見地からの指導や助言をもらう。
- ▶行政と連携し、計画相談に必要な情報を共有する。今年度は報酬改定の年であるため、改訂内容についても共有していく。

地域課題

▶希望や要望をあげるだけでなく、解決に向けての方法を考えてもらうように働きかける。



日時	性別 年代	障害	居住地	相談者	メモ	問題となっていること (~なればよいな)	解決に向けて取り組む課題	専門部会
	男 女	知的 身体	北区	本人	と、い、あ、え、ず、事、例、の、概、要、や、背、景、を、記、載 (例) 建部・御津エリアのヘルパー事業所がない。支援が必要な当事者がいるが、支援が行き届かず、ネグレクト状態の人が増加。	事例で困っていること(現状と理想のギャップ)や要望の焦点化をする (例) 建部町にヘルパー事業所が少ない。増やしてほしい。	問題を解決するために、取り組むべき課題は何かを具体的に記載する(自立支援協議会を活用する案も) (例) ・公的なヘルパーによらない資源(有償ボランティア等)を探す。 ・介護保険の事業所に障害の指定も取ってもらえる仕組みをつくる。 ・自立支援協議会を通して、介護保険課と相談できる場をつくる。	課題解決が難しい時や、意見が欲しい時には、意見をあげる専門部会を記載する (例) 福祉サービス部会
		南区	家族					
		精神	中区	関係者				
	者 児	発達 難病	東区	()				

- ・「問題から課題へ」を意識できるようにする
- ・協議会の活用を意識してもらう

研修会

▶参加者の意見をもとに、研修会を開催する。

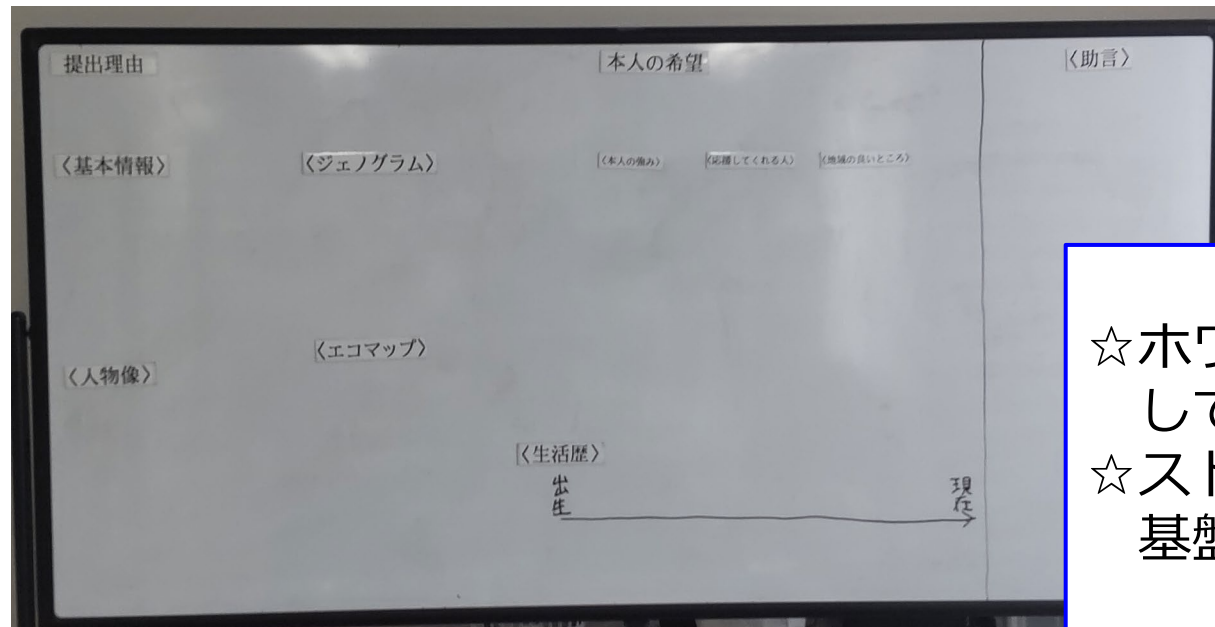
(テーマ案)

- 『性暴力・DV・虐待被害者の理解とトラウマインフォームドケア』
- 『報酬改定について重要ポイント解説』
- 『個別避難計画について』

令和5年度に開催し、第2弾を聞きたいとの意見多数！

GSV（グループスーパービジョン）

- ▶ 相談支援従事者養成研修で学んだ視点や技法をいかして、グループスーパービジョンを行う。
- ▶ 事例提供者と進行役は全員行えるように働きかける。



- ☆ ホワイトボードを活用して進行する
- ☆ ストレングス視点を基盤に展開する

地域移行支援WG

▶参加事業所

岡山市こころの健康センター、岡山パブリック法律事務所、岡山保護観察所、精神科病院、岡山
市障害者基幹相談支援センター、訪問看護ST、相談支援機能強化事業所、相談支援事業所 等

▶開催頻度

毎月第4（金） 14:00～15:30 @岡山県精神科医療センター

▶令和6年度取り組み予定

- ・ 行政（こころセ）との両輪支援による地域移行支援を継続
- ・ アンケートなどを通じエリアのニーズ把握→参入事業所を増やす
- ・ 地域移行に関連する勉強会、研修会の企画
- ・ 精神科病院への働きかけ（患者-相談支援専門員の交流を推進する）
- ・ 地域移行支援パスWG、他WG（南西、東部）との連動 等

その他

- ▶ 地域生活支援拠点事業における体制整備に関する取り組み。人材育成のためのOJT参加を促進。
- ▶ 日中サービス支援型共同生活援助の評価を行う。福祉サービス部会で作成された評価票をもとに実施。昨年度に引き続き、同日に数ヶ所の評価を行う。
- ▶ 相談支援専門員の情報交換会（通称：座談会）を開催する。

同日に行うことで、評価の流れが事業所も参加者も分かりやすい

横のつながりも出来つつあるので、回数を減らして開催予定